

# 2018/2019 ジャパンカップスピードスケート競技会 第4戦 要 項

2018年10月28日  
2018年11月25日修正

## 1. 主催

公益財団法人日本スケート連盟（以下「本連盟」という。）

## 2. 後援

岩手県教育委員会 公益財団法人岩手県体育協会

## 3. 主管

岩手県スケート連盟

## 4. 会場

岩手県営スケート場

岩手県盛岡市みたけ5-9-1 TEL: 019-641-1530 (競技役員室 TEL/FAX: 019-641-5025)

※競技会に関する事は、会場への問い合わせをしないこと。

## 5. 競技距離

女子 500m 1000m 1500m 3000m 5000m マススタートレース(16周)

男子 500m 1000m 1500m 3000m 5000m 10000m マススタートレース(16周)

## 6. 日程

2019年2月7日(木)

公式練習 9:00-12:00 (スタートトライアル 11:00-11:30)

代表者会議及び抽選 17:00 (岩手県青少年会館)

2019年2月8日(金)

ウォームアップ 7:30-8:30

オープニングセレモニー 8:45

競技開始 9:00 ①女子 500m ②男子 500m

ウォームアップ 15:30-16:30

競技開始 17:00 ③女子 3000m ④男子 5000m

公式練習 競技終了後 30分

2019年2月9日(土)

ウォームアップ 7:30-8:30

競技開始 9:00 ①男子 3000m ②女子マススタートレース ③男子マススタートレース

ウォームアップ 15:30-16:30

競技開始 17:00 ④女子 1000m ⑤男子 1000m

公式練習 競技終了後 30分

2019年2月10日(日)

ウォームアップ 7:30-8:30

競技開始 9:00 ①女子 1500m ②男子 1500m

ウォームアップ 15:30-16:30

競技開始 17:00 ③女子 5000m ④男子 10000m

※競技日程は、参加者数により変更する場合があります。

## 7. 競技方法

- (1) 本競技会は、距離別競技会とする。
- (2) 本競技会は、本要項の各規定のほか、国際スケート連盟スピードスケート競技規則（以下「ISU規則」という。）、本連盟スピードスケート競技規則に従って実施する。
- (3) トラックは標準400mダブルトラックCタイプとする。ただし、マススタートレース（以下「MSR」という。）については、アップレーンを含む全面を使用する。
- (4) 1000m以上の距離についてはカルテットスタート競技方法を採用することができる。
- (5) MSRを除く各距離における同時滑走者の組合せ及び滑走順は以下のとおり決定する。以下に定めのない事項についてはISU規則第239条2項に従う。

ア) 組合せ、滑走順用ランキングの編成

- ① 距離ごとに、参加申込みが受け付けられた競技者（以下「参加競技者」という。）について、本連盟が公表した当該距離の2018年12月9日時点のランキングポイント合計の順位によって順位付ける。
- ② ランキングポイント合計のない参加競技者については、①までのランキングの最下位に続けて、本連

盟が公表した当該距離の2019年2月3日時点の記録（ただし、カルガリー、ソルトレークシティー又はウルムチで記録されたものを除く。以下「本年度記録」という。）の順位によって順位付ける。

③ 本年度記録のない参加競技者については、②までのランキングの最下位に続けて、抽選により順位付ける。

イ) 組合せ及び滑走順

① MSRを除く各距離において同時に滑走する参加競技者は、ア)によって編成されたランキングの上位の競技者から2名ずつ組み合わせる。

② スタートレーンは、上位の者をインレーンとする。

③ ランキングの下位の組から上位に向けて順次滑走する。

ウ) 抽選後の棄権

イ)の組合せ及び滑走順の決定後に棄権者が生じた場合、ISU規則第243条3項に従って新たな組合せ及び滑走順を決定する。

(6) 最終順位は、ISU規則第265条、第268条及び第275条に従って決定する。

(7) MSRの競技方法は、以下のとおりとする。

ア) MSRの競技方法は、ISU規則第253条4項b)に従う。同条項に定める安全対策として、ヘルメット（ショートトラック競技の基準に適合するもの）、脛あて、手袋、ネックプロテクション、アングルプロテクション、ブレードカットを義務づけるものとする。レーシングスーツは、カットレジスタンスであることが望ましい（詳細は、ISUコミュニケーションNo.2038を参照）。

イ) スタートは、参加競技者が6列に整列して行う。参加競技者の並び順は、MSRの本年度ポイントの合計の高い者から順位付けたランキングの最上位者を先頭として、順次、同順位に従って整列する。本年度ポイントのない者は、ポイント最下位の者に続いて抽選による順位に従って整列する。

ウ) 3回の中間スプリントと最終スプリントを設定し、最終順位は、第1に、中間スプリントと最終のスプリントの合計により決定し、第2に第1に続いて、フィニッシュ順位により決定する。その他順位の設定については、ISU規則第265条6項に従う。

(8) 各距離の最終順位にジャパンカップポイントを与える。

ア) ジャパンカップポイントは次のとおりとし、同順位は同ポイントとする。

1位	30	2位	26	3位	23	4位	21	5位	20	6位	19	7位	18	8位	17
9位	16	10位	15	11位	14	12位	13	13位	12	14位	11	15位	10	16位	9
17位	8	18位	7	19位	6	20位	5	21位	4	22位	3	23位	2	24位	1

イ) ジャパンカップポイントの合計が同じ者は、次の優先順に従って上位者を決定する。

① 出場回数が多い者

② より高いポイントをもつ者（最高ポイントが同じ場合は2番目に高いポイント、それが同じ場合は3番目に高いポイント、以下順次同様とする）

③ 直近のジャパンカップスピードスケート競技会のポイントが高い者

④ 前3号で上位者が決定しない場合は同順位とする。

## 8. 表彰

(1) 各距離の1位から3位までの者にメダル及び賞状を授与する。

(2) 各距離のジャパンカップポイント合計の1位の者にカップ及び賞状を、2位及び3位の者にメダル及び賞状を、4位から6位までの者に賞状を授与する。

## 9. 参加資格

(1) 本年度の本連盟登録競技者であって、次の各号いずれかに該当する者を参加有資格者とする。

ア) 前年度国際スケート連盟主催競技会に日本代表となった者（当該競技会に出場した距離に限る）

イ) 本連盟が公表した前年度記録が次の表に掲げる順位以内の成績である者（男子3000mはジュニア対象年齢の順位）。

500m	1000m	1500m	3000m	5000m	10000m
50位	50位	50位	50位 (男子20位)	50位 (女子20位)	20位

ウ) 前年度のジャパンカップポイントの合計が、いずれかの距離において、次の表に掲げる順位以内の成績である者（男子3000mはジュニア対象年齢の順位）。

500m	1000m	1500m	3000m	5000m	10000m	MSR
30位	30位	30位	30位 (男子16位)	30位 (女子16位)	16位	30位

エ) 前年度の競技会における成績が、次の表に掲げる順位以内の成績である者

対象競技会	500m	1000m	1500m	3000m	5000m	10000m	MSR
全日本ジュニアスピードスケート選手権大会	8位	8位	8位	6位	6位	—	6位
日本学生氷上競技選手権大会	6位	6位	6位	6位	6位	6位	—

	(注)						
全国高等学校スケート選手権大会	6位	6位	6位	6位	6位	6位	—
全国高等学校選抜スピードスケート競技会	6位 (注)	6位	6位	6位	6位	—	6位
全国中学校スケート大会	3位 (注)	3位	3位	3位	3位	—	—

(注) 合計タイムの順位

- (2) 本年度の公式競技会のうち、本競技会競技初日から起算して10日前までに終了した競技会において、(1)イ)に定める各距離の順位の者の前年度記録以内の記録を出した者は、(1)イ)の参加有資格者と並んで参加資格を取得する(以下「追加有資格者」という。)
- (3) 本連盟スピード委員会が特に参加を認めた者は、その距離について参加資格を取得する。
- (4) 外国選手の特別参加は、本連盟事業による国際交流、海外チーム・選手招待等の場合に限られ、本連盟スピード委員会において審議の上、理事会の承認を受けて決定する。ただし、外国選手に賞は与えないものとする。

## 10. 参加距離

- (1) 参加有資格者及び追加有資格者は、参加資格を取得する条件を充足した距離(以下「資格取得距離」という。)について参加することができる。ただし、男子3000mについてはジュニア対象年齢(1999年7月1日以降に生まれた者)の者のみが参加できるものとする。男子3000mが資格取得距離であるシニア対象年齢の者は、これを男子1500m又は5000mに振り替えて参加することができる(男子1500m又は5000mが資格取得距離であったとしても、他の距離への振替は認めない。)
- (2) 資格取得距離が1距離である者は、当該距離に加え、他の任意の1距離を選択して参加することができるものとする(唯一の資格取得距離が男子3000mのシニア対象年齢の者は、1500m又は5000mに振り替えた上で、他のもう1距離に参加できる。)。資格取得距離が2距離である者は、参加可能な2距離の1距離を他の任意の距離に変更することができるものとする(2距離の資格取得距離のうち1距離が男子3000mのシニア対象年齢の者は、これを(1)により振り替えた上で、さらに本項目により振り替えることができる。)。資格取得距離が3距離以上の者は、資格取得距離にのみ参加できるものとする(男子3000mに資格取得距離を有するシニア対象年齢の者は、本項目の適用上1500m又は5000mの参加取得距離を有する者として扱う。この場合、すでに1500m又は5000mが参加取得距離であったとしても、これを重複して参加取得距離数としない。)
- (3) 次の距離は、参加申込締切時点の参加申込者数により参加制限を設定する。
- ア) 女子5000m及び男子10000mの競技参加者は、最大16名とする。参加申込者が16名を超えた場合は、次の優先順に従って競技参加者を決定する。
- ① 10.(1)の当該距離の参加有資格者
  - ② 当該距離の**本年度記録**の上位者
- イ) MSRの競技参加者は、最大30名とする。参加申込者が30名を超えた場合は、次の優先順に従って競技参加者を決定する。
- ① 10.(1)の当該距離の参加有資格者
  - ② 1500mの**本年度記録**の上位者

## 11. 参加申込

- (1) 参加資格有資格者にあつてはJSFマイページ(<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>)の競技会参加申込サイト(以下「サイト」という。)で、追加有資格者(10.参加資格(2)イ)に該当する者は所定の様式(別紙1)で申込むこと。
- ア) 参加申込に際しては参加申込者のメールアドレスを入力し参加申込完了直後にサイトから自動送付される参加申込受理の通知(以下「受理通知」という。)を受け取ること。この受理通知は参加申込にかかる疑義が生じた際確認するため、代表者会議が終了するまで保存しておくこと。
- イ) 参加申込にかかる疑義で受理通知が確認できない場合は参加申込締切時の参加申込状況により以後の処理を行うものとする。
- ウ) 参加申込締切前に参加申込の内容修正又は取り消しを行う場合はサイトで行うこと。この場合、ア)同様に受理通知を受け取ること。(サイトへのログインは、参加申込締切日の正午までとする。)
- エ) 参加申込締切後に参加を取り消す者は大会事務局へ必ず棄権届出書(別紙4)を提出すること。
- オ) 大会事務局  
〒028-4131 岩手県盛岡市芋田下武道49 竹田浩久 気付  
ジャパンカップスピードスケート競技会事務局  
TEL/FAX: 019-683-2086 E-mail: qbpcm951@yahoo.co.jp ([高見幸夫事務局長宛](mailto:qbpcm951@yahoo.co.jp))  
本連盟事務局  
〒150-8050 (公財)日本スケート連盟 (郵便番号の記載により、住所の記載は不要)  
TEL: 03-3481-2351 FAX: 03-3481-2350 E-mail: jsf@skatingjapan.or.jp
- カ) 参加申込状況は参加申込締切後直ちに本連盟ホームページに公開するものとする。
- (2) 参加申込料は参加申込者名の銀行振込みで支払う(銀行振込に限る)ものとし振込手数料は申込者の負担とす

る。ただし、複数の申込者の参加料を一括して支払う場合は、参加料振込明細書（別紙2）を大会事務局へ送付すること。

ア) 参加申込料 1名 1距離につき 5,000 円

イ) 振込先 金融機関名：岩手銀行 みたけ支店（087）

口座番号：普通 2032310

名義：岩手県スケート連盟 会長 竹田浩久（タケダ ヒロヒサ）

ウ) 参加申込締切後はいかなる場合も支払われた参加申込料は返還しない（未納の者にあつてはこれを徴収する）。ただし、次に掲げる者はこの限りではない。

① 他の競技会の成績で日本代表に選考されたことにより本競技会に参加できなくなった者

② 10. 参加距離(3)の参加制限により出場できなくなった者の当該距離相当分

③ 本連盟が特に認めた者

エ) (2)ウ)に該当する者の支払われた参加申込料は銀行振込により返還するものとする。この場合、振込手数料は主催者の負担とする。

### (3) 参加申込締切

参加有資格者 2019年1月23日(水) 正午 ※受付開始：2018年12月24日(月)

追加有資格者 2019年1月30日(水)

### (4) 参加申込にかかる添付書類

ア) 中学生以下の者については、サイトから出力した参加申込書(副)の親権者署名欄に親権者が自署した参加承諾書（この者が追加有資格者である場合は別紙1の該当欄に記載すること）を代表者会議までに大会事務局へ提出すること。

イ) 追加有資格者は所定の申込書(正)(副)に記入の上、参加申込手続を完了すること。また、参加申込時に大会事務局へその記録を証明できる書類を(副)に添付して送付すること。

(5) 参加申込が遅延した者（参加申込締切日までに参加申込料が納入されていない者を含む。）又は参加申込書が不完全な者は本競技会への参加を認めない。

(6) 参加申込にかかる個人情報、個人情報の保護に関する法律・関連法令を厳守し、競技運営以外の目的には使用しない。

## 12. 宿泊

各自で手配すること。

## 13. その他

(1) 本競技会中（6. の全日程中）の事故等については応急処置のみとし責任は負わない。

(2) 本競技会への参加に際してはスポーツ傷害保険等に必ず加入していること。

(3) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。

(4) 公式競技会への参加に際しては、バッジテスト級認定証を携行すること。